

令和3年度 第2回東松島市地域支え合い推進委員会

日 時：令和4年3月15日（火）

午前10時00分～

場 所：東松島市野蒜市民センター

次 第

1. 開 会

2. 開会挨拶

東松島市地域支え合い推進委員会
委員長 野崎 瑞樹

3. 報告事項

(1) 令和3年度 東松島市における地域支え合い活動の状況について

資料1

4. 協議事項

(1) 令和3年度 東松島市生活支援体制整備事業実施状況
及び令和4年度生活支援体制整備事業の方向性について

資料2

(2) その他

5. 閉会挨拶

東松島市地域支え合い推進委員会
副委員長 齋藤 あや子

6. 閉 会

東松島市地域支え合い推進委員会委員名簿

令和4年3月15日現在

◎委員長 野崎 瑞樹

○副委員長 齋藤 あや子

NO	氏名	所属	区分
1	永野 富美子	東松島市役所 総務部 市民協働課	(ア)
2	渡邊 智仁	ぱんぷきん介護センター	(イ)
3	武田 久義	赤井地区自治協議会	(ウ)
4	菅原 和範	大曲まちづくり協議会	(ウ)
5	熊谷 正彦	矢本東まちづくり協議会	(ウ)
6	内海 茂之	矢本西コミュニティ協議会	(ウ)
7	千葉 美智子	大塩自治協議会	(ウ)
8	立川 重行	小野地域まちづくり協議会	(ウ)
9	二宮 敏美	野蒜まちづくり協議会	(ウ)
10	小野 孝一	宮戸コミュニティ推進協議会	(ウ)
11	齋藤 あや子	東松島市民生委員児童委員協議会	(ウ)
12	熊谷 かざこ	東松島市レクリエーション協会 (ボランティア団体)	(ウ)
13	櫻井 けい子	サポータークラブ虹 (サロン活動実践団体)	(ウ)
14	佐藤 充信	東松島市老人クラブ連合会	(ウ)
15	石垣 武	NPO法人 東松島まちづくり応援団	(エ)
16	松岡 勝久	東松島市商工会	(エ)
17	野崎 瑞樹	東北文化学園大学	(カ)

事務局

東松島市 社会福祉協議会 地域福祉課	事務局次長 千葉 貴弘	東松島市役所 保健福祉部 高齢障害支援課 包括ケア推進係	課長 小山 隆
	地域福祉推進係長 阿部 和子		課長補佐 渥美 勝夫
	第1層 (市全域) 兼 第2層 (矢本東、矢本西) 生活支援コーディネーター 眞籠 孝史		係長 石垣 亨
	第2層 (赤井、大曲、大塩) 生活支援コーディネーター 本田 栄子		主査 高橋 祐介
	第2層 (小野、野蒜、宮戸) 生活支援コーディネーター 渡辺 英人		

令和3年度 東松島市における地域支え合い活動の状況について

地区名	自治会名	高齢化率	世帯人員(平均)	週1回以上(百歳体障)		生活支援団体(食事の提供等)		令和3年度開始				
				地域実証(地域サークル活動、サロン団体、NPO等)	老人クラブ	圏域会議	支え合い会議	見守り会議状況				
赤井 高齢化率 28.0% 世帯人員(平均) 2.49人	上区自治会	31.5%	2.78	ジョークボランティア				お通者クラブ	おせっ会 (第2層協議体)	支え合い会議	見守り会議状況	
	中区自治会	40.1%	2.76	さくらんぼ会	六糖なまよし会			中区長寿会		上区地域支え合い会議	自治会長、民生委員、包括による情報交換会	
	下区自治会	35.4%	2.77	コスモス会	すみれ会			下区福寿会				
	南西地区自治会	28.8%	2.43	105ピンピン体操	ひいらぎ会			南区和寿会		南西よりそいの会	民生委員が主体の見守り会議	
	南川前地区自治会	24.6%	2.41	南三区なごみ会				和泉会				
	赤井駅前自治会	26.6%	2.31	いきいき茶室	川前サリア会	お茶っこ飲み会						
	南新町地区自治会	35.3%	2.22	ニコニコサロン	南新町月曜サロン	いきいきクラブ					南新町地域支え合い会議	自治会、福祉部会員で構成している見守り会議
	柳北地区自治会	15.7%	2.78	だんらん家族	生き活きライフクラブ							
	柳区自治会	27.0%	2.38	柳区自治会サロン	なないろの会							
	柳西地区自治会	23.6%	2.45	柳西区はまなす会						柳西区はまなす会		
大曲 高齢化率 26.2% 世帯人員(平均) 2.46人	五味倉自治会	32.8%	2.55	五味倉地区自治会サロン					安心づくり事業部 (第2層協議体)	支え合い会議	見守り会議状況	
	上納自治会	22.9%	2.67	ヘルシーカフェあがらいいん楽屋	レクダス(ケセラセ)	友達倶楽部	キッチン男			大曲和会	五味倉支え合い検討委員会	五味倉自治会と自治会ボランティアによる見守り会議
	横沼自治会	29.6%	2.45	横沼ピンポン愛好会	横沼樺木の会	さくらホットサロン				大曲生粋クラブ	横沼地域支え合い会議	自治会役員と民生委員の見守り会議
	大曲自治会	23.5%	2.40	よつばの会	大曲地区ピンポンクラブ	ロマンスグレーキッチンクラブ				矢本中央長寿会	大曲地区地域支え合い会議	自治会と福祉推進委員の見守り会議
	上野車自治会	32.7%	2.29	やまひの会	カトレア会	ひまわり会						
	上野若葉自治会	24.0%	2.53	上若百の会								
	大瀧自治会	30.1%	2.56	大瀧ひばり会	なのほなクラブ					遊遊クラブ	ぼっぼクラブ	
	下野一自治会	23.2%	2.45	下野一ふわり会	下野一自治会お茶っこ会							
	下野二・五自治会	28.8%	2.39	下野二区・五区広域サロン								
	下野三自治会	33.0%	2.31									
矢本東 高齢化率 27.1% 世帯人員(平均) 2.31人	下野四自治会	29.3%	2.21	下野四お茶っこ飲み会								
	関の内西自治会	22.4%	2.38									
	関の内三自治会	29.2%	2.61	いきいき稲の会								
	岩田自治会	34.5%	2.19	岩田浦楽来会	岩田浦いきいき百歳体操	いきいき長寿会	あじさい会ふれあいサロン		大曲会	支え合い会議	見守り会議状況	
	下瀬自治会	20.3%	2.19									
	谷地自治会	42.3%	2.59	お茶サロン谷地								
	下小松自治会	39.3%	2.75	下小松地区健康体操								
	瀬浦沼倉自治会	0.0%	1.31									
	あおい1丁目自治会	28.0%	2.58	あおい1丁目サロン								
	あおい2丁目自治会	31.5%	2.26	あおい元気サークル								
あおい3丁目自治会	26.8%	2.49	なごみ百歳体操									
三角公園自治会	30.4%	2.08	いきいき三郷会									
河戸自治会	26.8%	2.50	ひよこクラブ	河戸自治会リフレッシュサロン								
矢本西 高齢化率 26.7% 世帯人員(平均) 2.40人	四反足地区自治会	21.8%	2.51	たんぽぽの会	悠悠クラブ							
	立沼地区自治会	36.2%	2.94	立誓会								
	鹿妻自治会	35.0%	2.44	鹿妻いきいきほっとサロン								
	遠地地区自治会	50.1%	1.94	茶房倶楽部								
	二反足自治会	30.8%	2.64	ほっこり百歳体操								
	上小松地区自治会	37.1%	3.43	上小松いきいき会								
	沢田自治会	42.9%	2.33	沢田いきいき101歳体操								
	鈴里自治会	33.0%	2.46	鈴里自治会百歳体操								
	手招自治会	37.6%	2.93	手招ひまわり会								
	鈴柳自治会	44.0%	2.00	鈴柳月見草								
大塚 高齢化率 29.4% 世帯人員(平均) 2.73人	小松海地区自治会	33.6%	1.86	あ・ままかん楽								
	小松台自治会	36.8%	2.32	なんだんごなんぼサークル								
	堀入自治会	45.4%	2.91	堀入シニアの会	堀入いきいきホットサロン	あつたかサロンシイオリ						
	長自治会	26.1%	2.66	長百歳体操								
	大塚地区中自治会	17.8%	2.90	中自治会お茶っこ飲み会	大塚スマイル	よさつぱ						
	小分木自治会	30.4%	3.21	小分木110歳								
	大島自治会	36.1%	2.65	大島地区健康体操								
	瀬沢自治会	40.6%	2.77	瀬沢いきいきほっとサロン								
	小野上地区自治会	40.3%	2.75	ゆまの会								
	新瀬町内自治会	29.2%	2.54	新瀬町内自治会百歳体操	新瀬町内自治会お茶会							
小野 高齢化率 29.1% 世帯人員(平均) 2.64人	坂古地区自治会	32.2%	4.09	坂古ふれあいサロン								
	高松地区自治会	30.9%	2.76									
	新田地区自治会	37.2%	3.12									
	西福田地区自治会	42.4%	2.94	西福田こまち	ひまわり会	射曲にこにこ会						
	上下埜地区自治会	50.0%	2.69	上下埜みんなのいきいき楽しむ会								
	川下地区自治会	46.0%	2.63	川下百歳体操	川下ふれあいサロン	川下グランドゴルフ愛好会						
	住瀬地区自治会	25.3%	2.65	みんなのクラブ	健康マージャン愛好会	しゃんしゃんクラブ	お茶っこの会	住瀬上やったりクラブ	上寿会			
	平岡地区自治会	40.3%	2.72	はつらつアンパ	笑顔の会							
	浅井地区自治会	43.2%	2.65	浅井百歳体操								
	中下地区自治会	35.9%	2.50	中下いきいきちよっこ会								
野蒜 高齢化率 27.3% 世帯人員(平均) 2.85人	亀岡地区自治会	33.5%	2.50	さくらスターズ	野蒜グランドゴルフ愛好会							
	東名地区自治会	35.7%	2.46	東名地区あどみの会								
	大塚自治会	38.8%	2.99	かたくり会								
	野蒜ク丘一丁目自治会	25.5%	2.72	シャンシャン会								
	野蒜ク丘二丁目自治会	30.1%	2.66	いきいき会	男クラブ	のんびーりすあみちゃんの家						
	野蒜ク丘三丁目自治会	37.8%	2.38	スマイル飛気会	香カラオケ会							
	宮戸コミュニティ協議会	47.9%	2.49	里浜げんきクラブ	ピンコロ体操	ほっこり楽来会	チーム望風	お茶のみ友の会	お通者クラブ			

週1回実施サークル 68団体 生活支援団体(食事の提供等) 14団体

自治会圏域での支え合い会議 2圏域(令和3年度 12圏域で開始)

令和3年度
東松島市生活支援体制整備事業
各協議体取り組み状況について

地域包括ケア推進会議

地域支え合い推進委員会の他在宅医療・介護連携協議会、認知症ケア連携会議等の協議状況を共有し、東松島市の医療福祉サービスの評価や政策形成に関する提案を実施。（市主管会議）

第1層（市全域）

東松島市地域支え合い推進委員会
（第1層協議体）

令和3年6月に新規委員委嘱、委員長に東北文化学園大学野崎瑞樹氏、副委員長に東松島市民生委員児童委員協議会齋藤あや子氏が就任。生活支援体制整備事業と協議体をテーマに、宮城県地域支え合いアドバイザー派遣を利用し、研修会を開催した。また、地域活動の啓発に向けてワーキンググループを設置し、支え合いの啓発について協議した。



第2層（まちづくり協議会圏域）

赤井はひとつおせっ会（第2層協議体）

地域活動の情報交換会の他、メンバーと保健福祉部会の情報交換会や、まちづくり協議会と連携し、地域支え合い活動の紹介する事例集を作成し住民へ啓発した。

開催頻度
1～2ヶ月に1回程度



矢本東地域協議体（第2層協議体）

今年度設置、自治会長や民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し地域活動について情報共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



大塩地域協議体（第2層協議体）

自治会役員やサロン活動運営者、民生委員等と地域活動について情報交換をおこなった他、今年度大塩地域で市内事業所のHarappaと連携し、移動販売を実施。移動販売の状況等について共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



野蒜地域協議体（第2層協議体）

自治会長や地域福祉活動実践者で活動の情報共有を実施。また、他地域協議体との交流会を実施。

開催頻度
年3回程度



小野地域協議体（第2層協議体）

メンバー選定を行い今年度中に設置予定。エリアでは、高校の生徒と地域の通いの場を調整し、高齢者の社会参加のきっかけづくりを実施。



大曲安心づくり事業部（第2層協議体）

各自治会の支え合い活動に関する情報共有の他、フードドライブの取り組み状況について情報共有。また、高齢者の実態を把握するためのアンケート調査を検討しており、調査に関する研修などを実施した。

開催頻度 毎月



矢本西地域協議体（第2層協議体）

今年度設置、民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し、地域で実践している活動や考えについて情報共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



宮戸地域（第2層協議体）

既存の地域会議体での協議を、現在まちづくり協議会と相談中。

第3層（自治会圏域）

地域支え合い会議（第3層）
令和3年度については、第2層よりもより、もっと身近な圏域で地域生活課題を共有する場として、各エリアの地域包括支援センターと連携しながら、地域課題の共有、地域での資源作りを目的に、自治会単位での地域支え合い会議を開催。今年度新たに12カ所の自治会圏域で開催が始まり、現在22自治会で定期的に開催。



資料 2

令和3年度 東松島市生活支援体制整備事業実施状況について

項目	内容	役割		具体的な取り組み	
		第1層	第2層		
コーデイネーターの業務	地域単位での活動	資源の把握・可視化	●	●	サロン活動への訪問聞き取り等を実施し、地域アセスメントシートの作成をおこなった。(9月に作成し、3月見直し予定)
		支援ニーズの把握・可視化		●	ひがまつ安心サポート事業利用者への訪問や、地域包括支援センター等と連携しながら個別ケースと関わりを持った。
		支援対象者及び世帯の把握と可視化		●	地域包括支援センター等と連携しながら個別ケースと関わり把握・可視化をするとともに、各自治会単位での「地域支え合い会議」を推進し、地域生活課題を抱える世帯の情報を共有した。 今年度、22自治会で支え合い会議を実施。
		地域ケア会議への参加		●	地域ケア会議（地域支え合い会議）に参加し、地域自治会長や役員、民生委員とのつなぎをおこなった。
		ニーズとサービスのマッチング		●	自治会長や民生委員、サロン団体からの相談があった際に専門機関及び地域活動の紹介をおこなった。
		不足するサービスの整理と創出		●	介護予防事業担当者と連携し、サロン活動の支援や調整をおこなった。また百歳体操の代表者会議やひがまつ安心サポート事業協力会員会議に参加し、現状把握と活動内容の見直しをおこなった。
		高齢者の活躍する場の確保と創出		●	
	福祉専門部会等との連携・運動		●	各まちづくり協議会の福祉系部会員及び部会担当職員と情報交換を通じて、まちづくり協議会における福祉系部会の活動について情報収集をおこなった。	
	活動の広報	広報物の作成	●		社協広報であるふれあいねっとへの地域活動の紹介記事を掲載し広報をおこなった他、赤井地域において協議体が中心となり支え合い活動事例集を作成し啓発をおこなった。
	包括ケア推進に係る会議等への参画	地域包括ケア推進会議	●		地域包括ケアシステム推進組織の会議や事業（認知症関連事業）等へ参加し、他会議体の実施状況を把握、連携をする体制作りをおこなった。
在宅医療・介護連絡協議会		●			
認知症ケア連携会議		●			
協議体の運営	第1層協議体の運営	地域支え合い推進委員会の運営	●		第1層地域支え合い推進委員会の運営と第2層の状況や活動について共有。今年度2回開催（6月29日、3月15日）
	第2層協議体連携事業	フォーラム及び研修会の開催	●		今年度フォーラムは新型コロナウイルス感染拡大に伴い未実施。今後代替事業として地域事例の紹介冊子を作成、紹介する予定。
	第2層協議体の運営	赤井地域での活動		●	各地域単位での取り組み 別紙参照
		大曲地域での活動		●	
		矢本東地域での活動		●	
		矢本西地域での活動		●	
		大塩地域での活動		●	
		小野地域での活動		●	
		野蒜地域での活動		●	
宮戸地域での活動		●			

令和3年度 東松島市生活支援体制整備事業実施状況及び、令和4年度 東松島市生活支援体制整備事業の方向性について

地区名	今年度の計画	今年度計画の実績見込み	今後の方向性（令和4年度）	地域で出来ていること	今後の見通し（改善点）
赤井地域 (本田)	<p>① 赤井地域第2層協議体メンバーと連携し、各自治会役員や民生委員等と「地域支え合い活動」について継続的に話し合いを行う。</p> <p>② 自治協福祉部会員と協議体メンバーの情報交換会を行い、地域高齢者の現状を知るとともに、地域の課題を共有する。</p>	<p>●南新町自治会では旧行政区単位で2回、自治会全体で1回「地域支え合い会議」を実施した。</p> <p>●上区自治会で「地域支え合い会議」を自治会長と民生委員、包括担当者を行った。</p> <p>●赤井南西地区の民生委員等が、定期的に気になる高齢者や困難事例について情報交換を行い、地域包括や総合相談につなぐ。</p> <p>●令和2年度に行った自治会との意見交換会で提案されたサロン活動が駅前自治会で保健福祉関係者が中心となり実施された。</p> <p>●第2層協議体活動を推進するために、自治協議会福祉部会員と地域福祉活動について話し合いを持った。</p> <p>●コロナ禍における地域支え合い活動事例集を発行し、地域支え合い活動について意識の醸成を図った。</p>	<p>●自治会(地域によっては旧行政区)ごとに、「地域支え合い会議」を開催し、地域の高齢者等の現状を把握し、地域できていること(地域資源)を整理する。</p> <p>●地域毎に整理した現状と課題を分析し、対応策について地域住民とともに話し合いを行う。</p> <p>●コロナ禍における地域住民のつながりづくりについて、第2層協議体や「地域支え合い会議」において地域で出来ることを話し合う。</p>	<p>●「地域支え合い会議」を開催した、南新町自治会や上区自治会では高齢者世帯等の状況を把握していることが分かった。</p> <p>精神疾患や閉じこもりの方を抱えた家族の状況を把握しても、当事者から困りごとの相談がない中で、どのように対応すればよいのか分からず悩んでいることが分かった。</p> <p>●各自治気会ではコロナ禍において交流事業ができない中、敬老者に対し各戸を訪問し高齢者の状況把握を行っていた。</p>	<p>●社会福祉協議会支部長会議で地域支え合い活動の主旨を説明し、各自治会で「地域支え合い会議」が開催できるよう働きかける。</p> <p>●地域支え合い会議において、個別の課題や地域課題について、得られた様々な情報を整理する必要がある。その対応について関係機関と話し合いを行う。</p>
大曲地域 (本田)	<p>① まちづくり協議会の健康福祉部会、安心づくり事業部、市民センターと連携し、各自治会と「地域支え合い会議」で見守り活動の推進について話し合いを行う。</p> <p>② 地域で暮らす支援が必要な高齢者の生活実態を把握し、在宅で暮らすために必要な生活支援をまとめ、第2層協議体や第3層協議体で対応策についての話し合いを進める。</p>	<p>●安心づくり事業部(大曲地域第2層協議体)では地域で暮らす高齢者の実態を把握することに努めた。</p> <p>・サロン活動参加高齢者に対しアンケート調査実施予定 県社協アドバイザー派遣事業を利用し研修会実施</p> <p>●安心づくり事業部(第2層協議体)が協議した結果、高齢者の見守り活動については、自治会毎に地域の実情に合わせて活動を推進し対応することになる。</p> <p>・横沼地区自治会は「地域支え合い会議」、大曲地区自治会は「福祉推進員交流会」を開催し参画した。</p> <p>・上納地区自治会は自治会役員、民生委員、健康福祉部会員等で話し合いを行った。</p> <p>・五味倉自治会では支え合い検討委員会を毎月行っており、2回地域ケア会議で東部包括とともに参加した。</p> <p>●フードドライブ事業を大曲まちづくり協議会で立上げ、安心づくり事業部で担当し、チラシや市民センターの広報紙で啓発を行っている。</p>	<p>●自治会の状況に応じ「地域支え合い会議」を開催し、地域できていることを整理する。</p> <p>●地域毎に整理した現状と課題を分析し、対応策について地域住民とともに話し合いを行う。</p> <p>●コロナ禍における地域住民のつながりづくりについて、第2層協議体や「地域支え合い会議」において地域で出来ることを話し合う。</p>	<p>●五味倉地区自治会では「支え合い検討委員会」を開催し、地域の高齢者の状況の変化を話し合い、専門機関の対応が必要であればつなぐことができている。今後地域として出来る生活支援について検討する予定となっている。</p> <p>●大曲地区自治会では民生委員と福祉推進員が連携し、高齢者の見守りを行っている。高齢者の入退院などの状況の変化について、地区長(副自治会長)が把握している。</p> <p>●上納地区自治会では月1回班長を交えて役員会を行っており、地域の状況を把握している。月1回民生委員と自治会役員が見守り訪問を行っている。</p> <p>●横沼地区では自治会長が困りごとに対処している。「地域支え合い会議」が自治会役員と民生委員の交流の場となった</p>	<p>●社会福祉協議会支部長会議で地域支え合い活動の主旨を説明し、各自治会で「地域支え合い会議」が開催できるよう働きかける。</p> <p>●地域支え合い会議において、個別の課題や地域課題について、得られた様々な情報を整理する必要がある。その対応について関係機関と話し合いを行う。</p>
大塩地域 (本田)	<p>① 「地域の支え合い」について自治会役員、民生委員、ボランティア団体等と話し合い、個別の課題や地域の課題について把握し検討する。</p> <p>② 協議体メンバーが取り組んでみたい事柄について、自治会や関係者などにつなぎ実現可能な事柄から取り組んでいく。</p> <p>③ 大塩地域にある福祉施設、特に認知症地域支援推進員との連携を図り地域の現状に応じた支え合い活動を進める。</p>	<p>●第2層協議体の話し合いを4月、10月に開催。その後、民生委員の情報交換会が7月、9月、11月に実施した。</p> <p>●民生委員情報交換会では、民生委員のほか中部包括支援センター、社協相談支援包括化推進員、CSWが参加し、百歳体操に参加されなくなった方や、精神障害を抱える対応の難しい方などの情報を共有し地域でどう支えていくかを検討した。</p> <p>●移動手段を持たない高齢者の生活支援のため、今年5月から市内にある生鮮食品を扱うHarappaに、百歳体操を行っている6つの地区センターでの移動販売を行った。</p> <p>●小規模多機能型居宅介護を行っているばんぶきん矢本の運営推進会議に参加し、事業を理解するとともに地域と連携してできる事を模索した。</p>	<p>●自治会ごとに「地域支え合い会議」を開催し、地域の高齢者等の現状を把握し、地域できていること(地域資源)を整理する。</p> <p>●地域毎に整理した現状と課題を分析し、対応策について地域住民とともに話し合いを行う。</p> <p>●コロナ禍における地域住民のつながりづくりについて、第2層協議体や「地域支え合い会議」において地域で出来ることを話し合う。</p>	<p>●百歳体操やサロン活動での高齢者同士のつながりが強く、欠席者等の安否確認を行っている。</p> <p>●小松台自治会では自治会役員と民生委員との連携が取れており見守り活動もできている。</p> <p>●塩入地区では塩入シニアの会が、地域の公園や道路の草刈りや高齢世帯の草取りなど、地域の環境保全や困りごとに対し支援している。(一部有料)</p>	<p>●社会福祉協議会支部長会議で地域支え合い活動の主旨を説明し、各自治会で「地域支え合い会議」が開催できるよう働きかける。</p> <p>●地域支え合い会議において、個別の課題や地域課題について、得られた様々な情報を整理する必要がある。その対応について関係機関と話し合いを行う。</p>

令和3年度 東松島市生活支援体制整備事業実施状況及び、令和4年度 東松島市生活支援体制整備事業の方向性について

地区名	今年度の計画	今年度計画の実績見込み	今後の方向性（令和4年度）	地域で出来ていること	今後の見通し（改善点）
矢本東地域 （真龍）	①介護予防事業と連携し、各サロン活動の状況把握と運営支援の実施 ②まちづくり協議会保健福祉部会と連携し、サロン状況の共有と支援内容の調整 ③協議体設置に向けた人選と集落支援員との関係構築	●介護予防事業と連携し、各サロン活動の実施状況の把握をおこなった。また、コロナ禍での開催について他地域の実施状況等の情報提供をおこない、活動の継続支援を実施した。 ●まちづくり協議会保健福祉部会と連携し、まちづくり協議会におけるお茶会支援事業等の状況把握をおこなった。また、同時に地域での支え合い会議についてコーディネーターが働きかけをおこない、今年度5地域で支え合い会議を実施した。 ●福祉活動に関わる関係者の情報交換の場として12月に矢本東地域協議体を設置した。	●矢本東地域での資源開発をするにあたり、地域の高齢者等に関するニーズ把握のための圏域会議（地域支え合い会議）の推進 ●介護予防事業と連携した地域でのサロンなどの資源把握の継続と高齢者を支える地域資源の聞き取り調査などを通じた、地域資源の把握、整理の実施 ●矢本東地域第2層協議体において、矢本東地域の地域福祉活動、資源開発に関する情報交換会の継続（第2層協議体）	●第2層協議体での情報交換ができています。 ●自治会圏域におけるお茶会の推進されている。 ●地域支え合い会議内での気になる世帯に関する情報交換をする地域が増えてきている。	●現在17自治会中5自治会で地域支え合い会議を開催しており、今後他の地域において支え合い会議の必要性や重要性を啓発することで、地域の身近な地域における課題の早期発見や対応の幅がひろがる。 ●地域生活支援として、専門機関と連携しそれぞれの役割を共有する事で、資源開発をしていける可能性がある。
矢本西地域 （真龍）	①介護予防事業と連携し、各サロン活動の実施状況の確認 ②まちづくり協議会と連携した協議連携の場（協議体）の設置 ③地域住民と専門機関の連携強化	●介護予防事業と連携した各サロン活動の実施状況の把握をおこなった。また、コロナ禍での開催について他地域の実施状況等の情報提供をおこない、活動の継続支援を実施した。 ●まちづくり協議会と連携し、福祉活動に関わる関係者の情報交換の場として12月に矢本西地域協議体を設置した。 ●矢本西地域協議体の中に、専門機関（地域包括支援センターや社協相談包括化推進員）も参画してもらって調整をおこない、連携の体制作りを実施。	●矢本西地域での地域ごとの地域生活課題把握や地域資源の把握、開発に関する圏域会議（地域支え合い会議）の推進 ●介護予防事業と連携した地域でのサロンなどの資源把握の継続と高齢者を支える地域資源の聞き取り調査などを通じた、地域資源の把握、整理の実施 ●矢本西地域第2層協議体において、矢本西地域の地域福祉活動、資源開発に関する情報交換会の継続（第2層協議体）	●第2層協議体での情報交換の他、地域民生委員・児童委員の連携体制が取れている。 ●福祉体制について、小学校と連携し児童も福祉について考える基盤ができています。	●地区自治組織圏域で地域住民と専門機関が連携できる体制を構築する事で、より地域の実情にあった生活支援につなげていける可能性がある。（地域支え合い会議の推進）
小野地域 （渡辺）	①自治会単位での見守り会議（地域支え合い会議）を実施する。 ②小野地域協議体を立ち上げる。	●上半期新たに往還地区と平岡地区で見守り会議（地域支え合い会議）を実施した。 ●下半期には西部地域包括支援センターが関わっている西福田のケースをきっかけとして、自治会長と地域の気になる高齢者について情報交換を行った。その中で、認知症の疑いのある方に対しては、西部地域包括支援センターの伊藤所長と自宅を訪問して実態の把握を行った。 ●2月1日に小野地域協議体を実施する予定だったが、新型コロナウイルス再拡大のため実施を延期した。	●他の地区にも優先順位を決めて見守り会議（地域支え合い会議）の実施を働きかける。 ●生活状況が気になる高齢者個人の状況を共有して支援策を検討すると同時に、広く地域に共有する生活課題の把握と取り組みに開発を進める。	●10自治会中、8自治会地区10か所において百歳体操が実施されている。 ●新道町内会自治会主催による高齢者の見守りに関する住民と福祉専門職による会議が実施されている。また、小野上地区、川下地区、往還地区、平岡地区において、高齢者の生活支援について話し合う「地域支え合い会議」を実施している。	●住民に身近な範囲である自治会区域において、地区住民と福祉専門職等が高齢者の生活支援ニーズについて協議する場（地域支え合い会議）の拡充を図る。地域支え合い会議未実施の地区は根古地区、高松地区、新田地区、西福田、上下堤の5地区。
野蒜地域 （渡辺）	①自治会単位での見守り会議（地域支え合い会議）を実施する。 ②野蒜地域協議体での地域アセスメント（資源把握・開発、ネットワーク構築）	●見守り会議（地域支え合い会議）を亀岡地区、東名地区、野蒜ヶ丘一地区で各4回実施した。 ●野蒜ヶ丘二丁目のある「いろどりの丘（北原ライフサポートクリニック東松島）」を会場に、野蒜地域協議体の構成員と赤井地域協議体（おせつ会）の構成員が集まり、お互いの地域で実施している支え合い活動について情報交換を行った。	●見守り会議（地域支え合い会議）の実施を他地区にも働きかける。まだ働きかけていない地区は浅井、中下、大塚、野蒜ヶ丘二、野蒜ヶ丘三の5地区。 ●協議体の構成員と共に、野蒜地域に共通する課題と必要と思われる取り組みについて検討を進める。	●8自治会全地区において百歳体操が実施されている。 ●第2層協議体での情報交換ができています。 ●亀岡地区、東名地区、野蒜ヶ丘一地区において、高齢者の生活支援について話し合う「地域支え合い会議」を実施している。	●住民に身近な範囲である自治会区域において、地区住民と福祉専門職等が高齢者の生活支援ニーズについて協議する場（地域支え合い会議）の拡充を図る。地域支え合い会議未実施の地区は浅井地区、中下地区、大塚地区、野蒜ヶ丘二地区、野蒜ヶ丘三地区の5地区。
宮戸地域 （渡辺）	1. 民生委員の担当地区単位で見守り会議（地域支え合い会議）を実施する。 2. 宮戸地域協議体を立ち上げる。	・里浜地区の民生委員から物忘れが気になる高齢者に関して相談があり、その方が参加している百歳体操に西部地域包括支援センター職員とお邪魔して本人の状況確認を行った。その他、民生委員が関与していたり気になる高齢者に関して情報交換を行った。 ・宮戸地域の協議体に関しては、宮戸市民センター所長から協議体構成員について助言を頂くため訪問する予定だったが、新型コロナウイルスが再流行したため訪問を見送った。	・見守り会議（地域支え合い会議）の実施について、里浜地区での定期的な会議の実施と、月浜・大浜台、室浜地区での実施を働きかける。 ・協議体に関しては、宮戸コミュニティ推進協議会の会長等に話を伺い、推進協議会の福祉文教委員会に協議体の機能を持たせることが可能か、もしくは新たに人選をした方がよいか確認をして協議体の設置を図る。	・里浜地区、月浜地区、大浜台、室浜地区の4か所で百歳体操が実施されている。 ・里浜地区において、高齢者の生活支援について話し合う「地域支え合い会議」を実施している。	・住民に身近な範囲である旧行政区において、地区住民と福祉専門職等が高齢者の生活支援ニーズについて協議する場（地域支え合い会議）の拡充を図る。地域支え合い会議未実施の地区は、月浜地区、大浜台、室浜地区。
	市全域で共通する項目について		●地域支え合い会議を市内の様々な地域で展開し、地域状況の把握とともに、地域住民、専門機関の協働体制の構築し地域資源開発につなげていく ●多くの人材が、地域支え合いに参画するシステムについて検討していく（ボランティアポイントの活用等）	●高齢者の介護予防の意識が高く、市内の様々な地域で社会参加の活動がおこなわれている。 ●市全域で協議体や地域支え合い会議等が開催され、地域の状況把握や活動が共有されている。	●コロナ禍において、つながりの維持や社会参加の場が減少することも考えられるため、社会参加やつながり作りを促進する仕組み作りが必要（地域支え合い会議の推進、地域支え合い研修の開催） ●フォーマルな資源、インフォーマルな資源を柔軟に活用できるようにするため、周知方法や活用方法について検討することが必要

東松島市生活支援体制整備事業 令和4年度事業計画について

項目	内容	具体的な取り組み	役割		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
			第1層	第2層															
コーディネート業務	地域単位での活動	資源の把握・可視化	サロン活動への訪問聞き取り等を実施し、地域アセスメントシート作成	●	●			←随時実施→		上半期集計							年度集計		
		支援ニーズの把握・可視化	地域包括支援センター等と連携しながら個別ケースと関わり把握・可視化		●			←随時実施→		上半期集計								年度集計	
		支援対象者及び世帯の把握と可視化	地域包括支援センター等と連携しながら個別ケースと関わり把握・可視化		●			←随時実施→		上半期集計									年度集計
		地域ケア会議への参加	地域ケア会議に参加し、地域自治会長や役員、民生委員とのつなぎを実施		●			←随時参加→											
		ニーズとサービスのマッチング	専門機関及び地域活動の紹介をおこない、ニーズマッチングをおこなう		●			←随時実施→											
		不足するサービスの整理と創出	各エリアの協議体や地域サロン等で聞き取りをおこない地域アセスメントの実施、地域との協議を通じて資源開発をおこなう。		●			←随時実施→											
		高齢者の活躍する場の確保と創出			●			←随時実施→											
		福祉専門部会等との連携・運動	各まちづくり協議会の福祉系部会員及び部会担当職員と情報交換の実施		●			←随時実施→											
	活動の広報	広報物の作成	ふれあいねっとへの活動掲載や高齢者を支える地域資源一覧及び活動事例集作成を通じて広報をおこなう	●				←毎月社協だより「ふれあいねっと」で→											
			包括ケア推進に係る会議等への参画	地域包括ケア推進会議	●														
在宅医療・介護連絡協議会				●															
	認知症ケア連携会議	●																	
協議体の運営	第1層協議体の運営	地域支え合い推進委員会の運営	第1層地域支え合い推進委員会の運営と第2層の状況や活動について共有	●				5月29日第1回委員会		9月下旬第2回委員会						2月下旬第1回委員会			
		ボランティアポイントの運用等、社会参加や生活支援に関する新しい仕組みの検討	新しい生活支援や社会参加に関する仕組みに関する検討部会の設置運営																
	第2層協議体連携事業	フォーラム及び研修会の開催	地域支え合い活動推進を目的に市や社会福祉協議会との取り組み状況及び事業説明をおこなう	●				各エリア単位で社協支部長対象の事業説明会の実施		地域支え合い研修会									
	第2層協議体の運営	赤井地域での活動	各地域単位での取り組み		●														
		大曲地域での活動		●															
		矢本東地域での活動		●															
		矢本西地域での活動		●															
		大塩地域での活動		●															
		小野地域での活動		●															
		野蒜地域での活動		●															
宮戸地域での活動	●																		

地域単位での取り組み
(第2層協議体の運営、地域支え合い会議の推進)